

2018
永福南キリスト教会
クリスマス



イブ礼拝
(キャンドルサービス)

12/24(月)

開演 17:00~

その他の日程やアクセスは裏面をご覧ください。



Merry
Christmas

初めにことばがあった

初めにことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。

ヨハネの福音書 1 章 1 節

初めにことばがあった

今年 7 月タイ北部チェンライ県の洞窟に 13 人のサッカー少年が取り残され、世界中から駆けつけた人々によって救出された事件は、記憶に新しいことと思います。救出活動の中で、仕事を休んでボランティアで参加した元海軍ダイバー、サマン・クナン兵曹長が命を落としました。13 人は自発的に命を提供した人の死を背負って生きていくことになりました。身代わりの死によって生かされる。

洞窟から車で 20 分の所に住む知り合いの宣教師が教えてくれました。第一発見者の英国人ダイバーと英語で会話したアドウン・サームオン君は、メーサイ恵み教会のクリスマスチャン。

感謝会でのアドウン君の挨拶です。「十日目、皆の忍耐と体力が失せ、希望が消え去ったとき、ぼくができる唯一のことを続けました。祈りです。神様は偉大なお方、聖なるお方。その神様がぼくたち 13 人を祝福し強め、生還させてくださるようにと。

この神様の恵みに応えてぼくは人生を主に捧げ、生涯主に仕えたい。自分の愛するサッカーを通して世界中の人々に神様の愛を知らせたい。…ぼくたちのために犠牲になってくださったサム兵曹長に感謝します。海軍ダイバーの皆さんすべてに感謝します。サム兵曹長のご遺族に感謝し、心からお悔やみ申し上げます。…ぼくは多くの方々の助けと命の犠牲を受けたのですから、社会に役立つ人間になるよう最善を尽くします。」

クリスマスは、神の御子イエス・キリストが私たちを救うために人となってくださったことを、喜び祝うときです。聖書にはこうあります。「初めにことばがあった。」漢字ではなくひらがなで「ことば」。「ことば」とは、イエス・キリストのことです。

ではどうして、イエス・キリストのことを「ことば」と言うのか？それは、彼が神の愛を伝える神の「ことば」だからです。イエスは人を救うために、ご自分を犠牲にして十字架の死を受け入れました。十字架は人間の犯す罪に対する神の刑罰です。本来であれば私たちが十字架にかからなければなりません。私たちの道徳的な罪、誰にも言えないような隠してきた罪、神に背いて自分勝手に生きてきた罪のためです。

しかし神は人を愛して、ご自分の御子を犠牲にすることで、罪の問題を解決し人を救う道を用意されました。イエスはそのような神の愛を伝える、神の「ことば」です。

十字架の死から 3 日後にイエスはよみがえりました。罪赦された者たちが、新しい人となって生きるためです。イエスを信じる者たちは、イエスの身代わりの死によって、また復活によって、新しい人生に生かされます。新しくいただきたいのちを、これからは神のために使っていきます。アドウン君がまだ若い人生を神にささげると誓ったように。

クリスマスに、教会にいらっやいませんか。どなたもこの神の愛に招かれています。人生の重荷をすべて神のもとに下ろして、イエス・キリストの身代わりの死によって新しく生かされる人生を歩み直しませんか。遅すぎることはありません。ご来会をお待ちしています。

永福南キリスト教会 牧師 伊藤 暢人

クリスマス日程



12月15日(土) 17:30～20:00
中高生クリスマス



12月16日(日) 14:00～16:00
キッズクリスマス



12月23日(日) 10:30～12:00
クリスマス礼拝



12月24日(月) 17:00～18:30
イブ礼拝(キャンドルサービス)

会場

日本福音キリスト教会連合

永福南キリスト教会

牧 師 伊藤 暢人

副牧師 小幡 壘



〒168-0065 東京都杉並区浜田山 1-2-19

☎ 03-5317-8210 (FAX兼用)

ホームページ <http://eifuku-minami.jp/>